# 令和４年度　第２回高知市広聴広報推進委員会　議事概要

〇開催日時：令和５年１月 17 日（火）18：25～20：20
〇場　　所：本庁舎６階 618 会議室
〇出 席 者：池田委員長代理，徳弘委員，畠中委員，前田委員
事務局(森田課長，横田補佐，福冨係長，松原，津野，黒田，川久保)
※委員長及び副委員長欠席のため，委員長指名により池田委員が委員長代理を務めた。

〇会次第
１　開会
２　委員長代理挨拶
３　議事
（１）令和４年度広聴広報戦略プランの取組報告
事務局より第２期広聴広報戦略プランに基づく令和４年度の事業の取組状況について，広聴事業，広報事業，組織・体制に関するスキルアップ事業に分けて説明。

（２）広報「あかるいまち」のリニューアルについて
事務局より令和５年４月号から予定している広報「あかるいまち」のリニューアルについて，市民ウェブモニター実施後の紙面案を説明。

（３）その他
第３期広聴広報戦略プラン策定スケジュールについて説明。

〇項目ごとの意見等概要
（１）令和４年度広聴広報戦略プランの取組報告

■市長と語ろう会

| | |
|---|---|
| 委　員 | 実際に参加し，市長と直接話をすることによって，もっと高知市のことについて知りたいという思いが強まる経験になった。また，参加者同士での横の繋がりができ，そこから更に新たな繋がりに広がったことが嬉しかった。 |
| 事務局 | 会終了後に，参加者同士での交流や情報交換が行われており，場を設けることの大事さを改めて感じた。 |

■ウェブモニター制度

| | |
|---|---|
| 委　員 | モニターの性別及び年齢は出ているが，子育て世代が多いなど，それぞれの背景は分かるのか。こどもファンドに関するモニターの回答で，若い世代の回答者が多いにも関わらず，「こどもファンドを特に応援しない」という回答が多かったので，どういった背景の人が回答しているのか気になった。 |

| | |
|---|---|
| 事務局 | 子育てしているか等の背景は，モニター登録時の情報として収集していないため分からないが，職業は聞いている。会社員・役員 140 名，専業主婦 62 名，パート・アルバイト 41 名，無職 31 名，派遣社員・契約社員 21 名，学生 9 名。働いてないというのは，高齢の方は働いていないというところがあると思うが，そこまでの背景は分からない。回答として選択できる項目が４つしかないので，「特に応援しない」を選んだのは，興味関心がないということだと思うが，その分析はできていない。 |

| | |
|---|---|
| 委　員 | こどもファンドを周知する Instagram の新設は，広聴広報課がやっているのか。 |
| 事務局 | こどもファンドを所管する地域コミュニティ推進課の職員がやっている。動画を多く使い，完成度が高いものを投稿しており，Instagram でイベント情報を見た学生が，他校のイベントに足を運んだりしている。また，市長と語ろう会で出た「他団体との交流ができていない」という意見を踏まえて，団体同士を繋ぐ情報をどんどん発信するなど，広聴によって知り得た意見を参考に，工夫を重ねながら活動をブラッシュアップしている。 |

| | |
|---|---|
| 委　員 | 実施テーマは，どのような基準で決めているのか。 |
| 事務局 | 庁内で募集して，申し込みがあったテーマで実施している。今年度は現時点で４回。年間４～５回位実施できるので，更に申し込みがあれば追加できる。リニューアルやブラッシュアップしたい事業を抱えている課，何かしらの計画を策定する段階にある課，新しい取り組みを検討している課からの申し込みが多い印象。 |

| | |
|---|---|
| 委　員 | 集計結果は，モニターにお返ししているのか。 |
| 事務局 | モニターに直接返信はしていない。市ホームページで結果を公表している。 |

| | |
|---|---|
| 委　員 | こどもファンドに関連して，高知新聞が取り上げてくれるという話があったが，マスコミの動きに合わせて，あかるいまちで特集をするなど，マスコミとうまく連動しながら自分達の発信したい情報を流し込んでいくことも考えてはどうか。 |

■あかるいまちアンケート結果

| | |
|---|---|
| 委　員 | 回答者の性別は，女性 78%，男性 18%だが，女性の方がアンケートに関心があるということなのか，あるいはそもそも広報紙自体を男性よりも女性の方が多く読んでいるからなのか。あまりに大きな差がある。女性の方が多く読んでいるなら，もっと女性を意識した方がいいと思う。 |
| 事務局 | 令和３年に実施した市民意識調査の結果でも，情報を入手する手段としてあかるいまちを挙げている人は，女性の方が多かった。 |
| 委　員 | 実際にあかるいまちを活用しているのも女性の方が多いということか。 |

| | |
|---|---|
| 事務局 | アンケートに答えると，宿泊券等のプレゼントが抽選でもらえるので，回答者は女性が多くなる傾向だと思う。LINE のキャンペーンでも同じ傾向だった。 |

| | |
|---|---|
| 委　員 | 「役立っている情報」や「取り上げてほしいテーマ」は，全体と年代別では結果が少し異なるのではないかと思う。ざっくりとした括りで集計して見えてくるものが，どの程度あるのかと思った。 |

（２）広報紙「あかるいまち」のリニューアルについて

■表紙

| | |
|---|---|
| 委　員 | 表紙の写真は，特集に関するものが内容が分かりやすくてよい。 |
| 委　員 | 写真の周りは，真っ白か。あるいは生成りのような色か。 |
| 事務局 | 真っ白を考えている。 |
| 委　員 | これまでは，全面写真ではっきりしていたものが，すごくシンプルになるので写真がとても大事になる。表紙によって，紙面を読むかどうかが変わるので，インパクトのない写真だと読もうと思わない人も出てくると思う。 |
| 委　員 | シンプルで現代風になった印象で，情報の整理も統一感があって好ましい。表紙は「高知市広報」の文字や，行政の広報という主張がもう少しあってもいい。 |
| 委　員 | 写真を専門家から学んではどうかと話をさせていただいたことがあるが，やはり表紙の写真は大事。これぐらいシンプルな表紙だと，写真の見え方はすごく大事になる。実際にこのシンプルな表紙が届いた時のイメージが湧くようで湧かない。これをデザインといえばデザインかもしれないが，もう少し考えた方がいい。<br>特集の内容が表紙を見て分かるという見せ方もありだと思う。 |
| 事務局 | 現在も，表紙の写真は特集に関係する写真にしているので継承していった方がいいと思っている。<br>シンプルに見えるという意見を踏まえて，全面写真に戻した方がいいだろうか。あるいは，例えば上だけ白を残して，下は全部写真にする等の手はあると思う。 |
| 委　員 | 全面の「竜とそばかすの姫」の時はインパクトがあった。ただ，写真によっては「高知市広報あかるいまち」の文字が見えない，または見えづらいことがあった。その点では白があると文字は見やすいが，写真の額縁としてはどうなのか。 |
| 委　員 | このデザインでもいいと思うが，写真による。写真は職員が撮影して，編集などするのか。 |
| 事務局 | 職員が撮影し，トリミングや色味の調整は行う。 |
| 委　員 | 職員がどの写真を表紙にするか決めるのか。 |
| 事務局 | いくつか撮影した中から，選んだりはしている。 |
| 委　員 | やはり写真。デザイン自体は，おしゃれな冊子という印象だが，これまでの方がパンチはあった。全面写真の場合は，写真がそんなに良くなくてもインパクトがあるが，新しいデザインは，写真によって微妙な部分があるのがひっかかる。 |

| | |
|---|---|
| 事務局 | 文字が写真に埋もれてしまったり，特集の文字の配置に苦労することがあるので，その点では白の部分に文字を置いた方が見やすいと思っている。 |
| 委　員 | 白いと写真が浮かび上がって見えるので，余計に気になるかもしれない。 |
| 事務局 | モニターアンケートでは，編集も含めて，プロに任せたらという意見はあったが，予算的には厳しい部分がある。 |
| 委　員 | 撮影する人の力量と責任が，相当増す感じ。デザインなどは，研修を受けていると思うが，写真についてはどうか。 |
| 事務局 | 市町村アカデミーの研修には，写真の研修も入っているが，研修を受講できる職員が限られているので全員は行けていない。 |

| | |
|---|---|
| 委　員 | 表紙のロゴはこれで確定か。 |
| 事務局 | そのように考えてるが，意見があれば教えてほしい。 |
| 委　員 | 写真が大事と言ったが，ロゴも関係あるかもしれない。一般的な見やすいフォントを使用していると思うが，全て同じフォントなので，ダサいかダサくないかというと微妙な部分。写真が微妙だとおしゃれではない印象になるかもしれない。 |
| 委　員 | 「あかるいまち」の文字の大きさが，少し小さいように感じる。 |
| 委　員 | ペラっとしている。全体的に仕上がっている印象になるのが引っかかる。 |
| 事務局 | 文字をシンプルにした関係で，「あ」や「る」の丸の中には色を入れている。文字が小さい方がおしゃれに見えると思う。 |
| 委　員 | そもそもおしゃれにこだわる理由はあるのか。文字は不思議で，字と字の間に余白があれば，そこに情報があると感じる人もいて，文字の並び，字間などいろいろな部分に何か考えがあると思う。これがおしゃれな感じと言えばそうだと思うし，余白を情報と受け取る人にすれば何かありそうな気がするので，字間や余白は大事。 |
| 事務局 | フォントや大きさを変えてみる感じか。 |
| 委　員 | あとは，「高知市広報」のサイズがどう見えるか。 |
| 事務局 | ここは小さい気がする。縦書きにした関係で少し小さくしているが，工夫して目立つ形にしたい。 |
| 委　員 | 特集の文字の扱いによっては，下の方に「高知市広報」があってもいいかもしれない。まずは，どこに入れるかよりも文字の大きさ。小さくて，やけに遠慮している感じ。高知市でしか配布していないので，分かっているのではないかと言われたらそうかもしれない。 |
| 事務局 | デザインも変わるので，高知市の広報紙と分かってもらえないのは困る。もう一度考える。 |

| | |
|---|---|
| 委　員 | 写真の上に，毎回統一のデザイン的なものがあれば印象は変わるだろうか。 |
| 事務局 | ボタンのようなものやキャラクターということか。 |
| 委　員 | 他にもロゴや，「高知市広報」の少し文字とか。 |

| | |
|---|---|
| 事務局 | 写真の邪魔をしてしまう懸念がある。 |

■目次

| | |
|---|---|
| 委　員 | 表紙を開いた時に，目次は左ページにある方が落ち着くように感じる。逆にトピックスが右ページにあってもよいと思う。 |
| 事務局 | 当初のリニューアル案で，目次を左ページ（３ページ）にしていたのは，市長コラムの位置の関係。他自治体では，右ページ（２ページ）が目次のケースが多いので，違和感がないか心配しながらの案であった。ページ数の多い広報紙では左ページが目次でも収まりやすいと思う。どちらがいいのかご意見をいただきたい。 |
| 委　員 | 好みの部分かもしれない。雑誌を見る時は右側には別の話題があって，開けてすぐに右側のページを見るというよりは，左ページに目次や情報の流れがあるというイメージを持っているだけなので，収まりがいいという訳ではない。 |
| 委　員 | 視線の誘導としては左上から見るものなので，気になるのだと思うが，「編集室ピックアップ」と目次のどちらが優先かによって場所が変わる。「編集室ピックアップ」が大事ならピックアップがいいと思う。人が見る目線としては今の案の方が正しいと思う。 |

| | |
|---|---|
| 事務局 | 目次の部分で，「お知らせ」などの見出しの後に，タイトルがあるので重複しているとの意見があったが，見出しなしで，タイトルだけを入れる方がいいか。 |
| 委　員 | あってもいい。「お知らせ定期便」の部分の「お知らせ」が見出しと重複していて気になっただけで，デザイン的な面ではある方が見栄えがする。 |
| 事務局 | 「情報掲示板」に戻すなど，もう少し文言を考えてみる。 |

■デザインについて

| | |
|---|---|
| 委　員 | お知らせのところなど，全体的にシンプルに片付いているので，せめて特集ページはもう少し考えて，力を入れて見せ方のアクセントをつけた方がいい。案の中で，黄色のラインを塗っているところがあるが，ラインをつけることによって行政側の意図で誘導するような受け取り方をされるのであれば，どうしてここだけラインをつけているのかと思う部分がある。全体的にデザインをするところはする方がいい。 |
| 事務局 | 特にシンプルすぎる箇所や，手を入れた方がいいところは具体的にどこか。 |
| 委　員 | お知らせのシンプルな部分はこれでいい。デザインし過ぎると，変なことになるので，ある程度の安心感がある方がいい。特集ページは，内容によって，デザイン的に遊べるところでもあるので，ここにある程度力を入れていくと，他のシンプルさがそんなに気にならない気がするし，メリハリがつくと思う。インフォメーションの枠外の部分も，もう少し力を入れるとアクセントになる気がする。 |

| | |
|---|---|
| 委　員 | おしゃれだが，おしゃれだからこそメリハリが少ない。文字と見出しの差がほとんどないのが気になっている。メリハリを極端にすると読むのがしんどくなるが，大事なことがどれなのかが分かりにくい。「編集室ピックアップ」も，字体に余白があるので，ピックアップした情報ということを教えた方がいいと思う |
| 委　員 | フォントや字体はこれでいくと決まっているのか。 |
| 事務局 | 基本的にはタイトル以外の本文は読みやすい UD を使用している。 |
| 委　員 | いつも特集ページを残念だと思って見ている。特集というからには，もう少し見せ方を頑張ったらいいと思う。 |
| 事務局 | 例えば，どのような見せ方がいいか。 |
| 委　員 | 使用する写真もあるだろうが，見出しも長いとうるさい感じがする。また，たくさん情報があって見やすいが，見え方として薄く見える。文字ばかりだと，今の人はあまり読みたくないということもあるので，できるだけ小分けにした情報だと思うが，それが余計に情報を薄く見せている感じもする。特集の場合だと，見出しが長いと字があまり目立たないので，字に強弱があってもいい。 |
| 事務局 | 文字のジャンプ率を大きくし文を短めにして，タイトルを大きくするイメージか。 |
| 委　員 | 開いた時に，特集として目を引く感じがいいと思う。 |

| | |
|---|---|
| 委　員 | ウェブモニターで「今の方が良い」という意見があったとのことだが，どの点が良いのか。 |
| 事務局 | 例えば表紙は全面写真が良かったという意見や，前の広報紙で全然不自由してないのでこのままでいいという意見が割とあった。新しい紙面に見慣れてないからかもしれないという意見もいただいた。 |
| 委　員 | 何回か見ていくうちに，これに慣れていくのだと思う。 |
| 事務局 | あかるいまちアンケートや，新しく設けるプレゼントコーナーで市民の声をいただけるようになったので意見をもらうなど，少しずつ変えていく方法もあると思う。一度やってみて感触を探るのもありだと考えている。 |
| 委　員 | 反応を見ながら，その時々で変えていけばいいと思う。スタートしたら一年間は変更できないなどあるのか。 |
| 事務局 | 各課から記事を募集しているので，掲載できなくなると各課が困ると思うが，デザインなどは少しずつ変更できる。 |

| | |
|---|---|
| 事務局 | 委員会後に，気になる部分やタイトル名などについて意見があれば，メール等で提案いただけると嬉しい。今回いただいた意見を踏まえて，再度直せるところは直して，踏襲するところは踏襲していく。また，綺麗でインパクトのある写真を撮っていくというところでは，撮影のスキルアップをする形で頑張っていきたい。 |
| 委　員 | 委員に頼るのは安易。自分たちでアイデアを出し，出なければ隣の課でもアイデア出しをして，皆で「あかるいまち」を作っているのだから他課の意見も聞いたらいいと思う。 |

■タイトルについて

| | |
|---|---|
| 委　員 | タイトルをもう少し考えた方がいい。例えば，「お知らせ定期便」の中のインデックス「お知らせ」があって，内容が被っている。別に気にしないといえばそこまでだが，もう少しどうにかならないのかと思う。「お知らせ」という言葉を「インフォメーション」とか「お知らせ」とかいろんな風にしながらつけているという印象。「編集室ピックアップ」は，編集する側の気持ちは分かるが，「編集室」は必要か。読む側はあまり希望していないと思う。 |
| 事務局 | 最後に編集室の編集後記があるので，最初と最後を「編集室」で囲んだという経緯。 |

| | |
|---|---|
| 委　員 | 土佐弁で良い言葉があれば親しみやすいのではないか。 |
| 事務局 | 「おらんく」は土佐弁。 |
| 委　員 | 私たちが思う土佐弁は，もう死語と言われることもある。 |
| 事務局 | やりすぎると逆に分からなくなる。 |

■モニター意見の反映方法について

| | |
|---|---|
| 委　員 | 紙面モニターは，高齢の方か，若い方か。また性別によっても意見が変わると思うので，意見を集約する際に属性が見える形で集約してもらえたら，委員として対応についてアドバイスできる部分があったと思う。 |
| 事務局 | 意外と「おおきくなーれ」に興味のないことが気になって調べてみたが，モニター登録者は若い方が多いにも関わらず，見ないという意見も多かった。その背景には子どもが出ることに対する拒否反応が隠れているのかなと思った。 |
| 委　員 | 狭い地域なら，あそこのあの子という風に親近感が湧くが，高知市は人口も多いので，どこの子か分からない。地域性があると思う。 |

| | |
|---|---|
| 委　員 | モニターからたくさんの意見があったと思うが，反映させるものと反映させないものの判断基準は，どのようにしたのか。職員がリニューアル案を考える中で，いろいろなところと連携した意図があると思う。読み手側がその意図を全部理解しきれないまま意見したことによって，考えて作ったものが寸断され，一人の意見だけで案が変わってしまうのはもったいないと思う部分もある。 |
| 事務局 | リニューアル案の方が良くなったという意見も結構あった一方で，前の方が良かったという意見もあった。前のものを踏襲していく考え方ももちろんあるので，例えば全面写真の表紙を残していくという考え方もあると思う。最終的にはリニューアル感を出したいという気持ちがこの案には込められている。あかるいまちが届いたことが分からなくなるという考えもあって，前の良さを残しながら新しさを出すのは難しい部分があった。我々としては案の内容で進めたいと思ってはいるが，客観的にいろいろな意見をいただいて参考にしたい。 |

■デジタル化について

| | |
|---|---|
| 委　員 | 全体的にＱＲコードが入って，広報の使い勝手が広がり，便利だと感じる。ただ，高齢者もいるので，紙とデジタルの両方の活かし方は，どうしても行政のものに関しては，より難しい。デジタルを加えたものが広がっていった時に，紙媒体として同じ部数印刷していくかどうかも今後は考えていく必要がある。見られないまま捨てられているものも結構多いと思うので，そういうロスも考慮しながら，紙媒体の取扱いや部数などある程度見直していく時が来ていると感じている。 |
| 委　員 | 職場の若い人があかるいまちを一度も見たことがないことに驚いた。情報はネットで見ていると言っており，将来的には，あかるいまちを見ない家庭に配布しないことも必要だと思う。しかし，配布している民生委員が，配る家と配らない家を分けていくのも大変だという話が出ていた。 |
| 事務局 | 現在は，全戸配布ということで，配布漏れや新築の家に配布してほしいという連絡や，配布しないでほしいという要望があれば，配布人に連絡するなどのやり取りをしている。例えば，町内会単位で，この町内会は全世帯に配らない等であれば，やりやすいかと思うが，町内会の中で１戸だけ配布しないとなると，トラブルに繋がることが考えられる。ただ，配布人が高齢になって配布が難しくなっているということもあるので，デジタル化含め，配布の民間への委託などの検討も来年度以降していく必要がある課題だと思っている。 |

（３）その他

■第3期広聴広報戦略プランについて

| | |
|---|---|
| 委　員 | 「地域力」がどういうものか分からないが，アドバイザーやコンサルなどいろんな人がどこでも通用するノウハウなどを教えてくれることによって，完成物がスマートになっていく一方で，実際「あかるいまち」はおしゃれでスマートだが，高知らしさはどこにもない気もする。別に色がなくても大事な情報だけが伝わればいいとも思うが，アドバイザーの声を聞くと，地域力と言いながら地域の色が褪せていく気がしなくもない。高知市が自分たちはどういう行政であって，どのようにしていきたいという自分たちのビジョンをはっきりしないまま，地域力の創造をアドバイスしてもらうと，正直どうなっていくのかと思う。高知らしさや高知の匂いみたいなものが，一つの印刷物の中でも薄まっている気もする。高知らしさがあるからいい，ないからどうではないが，そういう心配もなくはない。 |
| 事務局 | 地域らしさはずっと持っていかなければいけないし，その軸は折れてはいけないと思う。アドバイザーに入ってもらい，自分たちが軸をしっかり持った上で客観的な意見をいただきながらいいものを作っていきたい。 |
| 委　員 | その軸がどこにあるのか，何かは分からないが，広報を見ても何を見ても，結果的にいいとこ取りをしていけば金太郎飴になってしまう。その辺が少し昔ながらの土佐人からすると，そうなのかという感じもしなくはない。どんどん精錬されてスマートなものになっていってしまうのかという一抹の思いはある。 |